

国語

次の文章を読んで、①～⑥に答えなさい。

(45分)

1

【著作権の関係から設問のみ】

(出典 古井由吉「考える方法」)

- ① ———の部分①、②、③を漢字に直して楷書で書きなさい。
- ② 「日本人の特殊性」とはどういうことか。その説明として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア かなと漢字を交換する要領で外国の技術を身につけたり、漢字を用いて日本語の概念にない言葉を翻訳して使ったりしたこと。
- イ かなから漢字への変換を繰り返すうちに身につけた、高度な情報処理能力を生かして、西洋文明を簡単に取り入れたこと。
- ウ 漢字からかなを発明して両方を使いこなしたように、西洋の技術や考え方をうまく工夫して取り入れ、合理化を進めたこと。
- エ 漢字をかなに変換するように外国の技術を日本の伝統の中に取り込んだり、外国語に漢字の音を当てて用いたりしたこと。
- ③ 「伝統……ものだ」とあるが、なぜそのように言うのか。文章中の言葉を用いて、二点に分けて書きなさい。
- ④ ㊦に入ることばとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア なぜなら イ たとえは ウ たしかに エ それから
- ⑤ ㊧に入ることはとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 表音 イ 形声 ウ 指事 エ 表意
- ⑥ 「よその……てくる」とあるが、どうすることが必要だということか。文章全体を読んでわかりやすく説明しなさい。

2

次の文章を読んで、①～⑤に答えなさい。

【著作権の関係から設問のみ】

(鉄野昌弘「日本の古典 第三巻」)

※崇徳院……崇徳上皇。後白河天皇と争った保元の乱(一一五六)に敗れ、流された先の讃岐で無念の死を遂げた。

※序詞……和歌の、ある語句を導き出すために前置きとして述べる言葉。

- ① 「逢はむとぞ思ふ」を現代仮名遣いに直して、ひらがなで書きなさい。
- ② 〓の部分㉔㉕㉖のうち、受身の助動詞はどれですか。その符号を書きなさい。
- ③ 「われて」とあるが、これは何が「われ」というのか。二通り、解説文の中から抜き出して書きなさい。
- ④ 「理窟に合わない」とあるが、これは歌のどの部分について述べているのか。歌の中からそれに当たる部分を抜き出して書きなさい。
- ⑤ 「どちらが……であろう」とあるが、そう考えるのは二首の歌がどう違うからか。わかりやすく説明しなさい。なお『久安百首』の歌をⅠ、『詞花集』の歌をⅡとして解答すること。

3

次の文章を読んで、①～⑦に答えなさい。

【著作権の関係から設問のみ】

- ① 〓の部分㉔、㉕、㉖の漢字の読みを書きなさい。
- ② ㉗に入る最も適切なことばを、次の漢字から対になる二字を組み合わせて作りなさい。
- 先 禍 否 福 後 成
- ③ 「タオの……だった」とあるが、ユタカの捉え方が征人とタオでどう異なるか。わかりやすく説明しなさい。
- ④ 「今いる……だった」とあるが、このときの征人の気持ちを説明したものとして最も適切なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア タオの感想と自分の感想とのあまりの違いに驚くとともに、作中の登場人物の捉え方が違う理由が思い当たらず、戸惑っている。
- イ アキラの立場から全体を捉えたタオの感想に驚くとともに、自分の感想の方が子供っぽいように感じられて焦燥を感じている。
- ウ 正直者のユタカに感情移入した自分の感想より、二人を批判的に捉えたタオの感想の方が的確に思われて、劣等感を覚えている。
- エ 常に周囲の目を気にして発言したり、文章を書いたりする自分の弱さに思い至って恥じ入り、成熟したタオの精神に憧れている。
- ⑤ 「はー!？」とあるが、このときの孝俊の気持ちを説明したものとして最も適切なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 不審と失意 イ 衝撃と反発 ウ 落胆と侮蔑 エ 安堵と賞賛
- ⑥ 「やっぱり……思った」とあるが、征人がこう思うようになった経緯を説明したものとして最も適切なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 自分とは異なる登場人物の経験を共有し、共感を覚えることで、タオとは異なる自分の感想を素直に肯定することができた。
- イ 高度な読書を進める中で他者理解のための知的作業の価値に思い至ることで、自分の方が高みにあるような錯覚に陥った。
- ウ 読書の本質について考えることで、人間は皆個性的な存在であり、本や登場人物の好みは異なるものだということを悟った。
- エ 自分とは似ても似つかぬ同世代の少年に徐々に共感を抱くという経験をすることで、タオの感想文の真意が理解できた。
- ⑦ 「おれは……だった」とあるが、この時の征人の気持ちを、わかりやすく説明しなさい。

(出典 椰月美智子「14歳の水平線」)

